

いんさい

No.184

2018. 5. 15

議会だより

わくわく・ドキドキ
ローラー滑り台 (印旛高校跡地)

平成30年度

注目事業

拡充事業を中心に注目事業をご紹介します。



文化ホール改修
文化ホール大規模改修の設計
(約6,800万円)



働きながら子育てする環境づくり

公立・私立保育園の適正な運営を進める(約30億円)
学童クラブの実施・民間学童への補助等(約1億7千万円)
子どもから高校生までの医療費補助(約4億8千万円)

次世代を担う子どもたちのために

(小中学校施設整備・管理運営)

原小学校校舎増築他(約3億1千万円)
西の原中学校増築の設計/中学校トイレ改修(約5億3千万円)
小中学校校務用パソコン・机と椅子入れ替え(約4億6千万円)



イノシシ被害対策

囲いわなによる
一斉捕獲の検証
(約4,600万円)



人口10万人突破記念事業

いんざいふるさとまつり(500万円)

平成30年度前半に人口が10万人を突破する見込み。この節目を祝い、将来に向かって更なる飛躍につながる契機となるよう記念イベントを実施。

交通弱者解消へ

更に充実
高齢者福祉タクシー(約1,700万円)
師戸地区等の
バス路線運行補助(約2,500万円)
本埜地区で
乗合タクシー実証運行(約480万円)



平成30年度当初予算可決 一般会計 338億7千万円

会計区分	単位(千円)			
	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率(%)
一般会計	33,870,000	31,640,000	2,230,000	7.0
特別会計等合計	16,798,874	17,931,851	△1,132,977	△6.3
国民健康保険特別会計	8,522,957	9,710,587	△1,187,630	△12.2
下水道事業特別会計	1,627,158	1,557,747	69,441	4.5
介護保険特別会計	5,009,827	4,953,020	56,807	1.1
後期高齢者医療特別会計	767,870	691,010	76,860	11.1
水道事業会計	871,062	1,019,487	△148,425	△14.6
総合計	50,668,874	49,571,851	1,097,023	2.2

いんざい
議会だより No.184



CONTENTS

- P 2・3 平成30年度
注目事業
- P 4・5 予算審査
常任委員会報告
- P 6 3月定例会
質問者一覧表
- P 7~18 一般質問
会派代表質問6人
個人質問11人
行政視察に来庁
- P 19 議案と審議結果一覧
- P 20・21 各常任委員会の審査
文教福祉常任委員会
総務企画常任委員会
建設経済常任委員会

- P 22 討論
- P 23 議員の出欠簿
編集後記
- P 24 市民の声
次回定例会の
お知らせ

予算審査

予算審査常任委員会では、3月1日に平成29年度補正予算、3月2日から7日まで平成30年度当初予算、3月20日に追加された補正予算の審査を行いました。

補正予算7議案、当初予算6議案は原案のとおり可決しました。

補正

市税見込みを2億円増額 約192億円に

問 歳入の法人市民税の決算見込みによる2億円の増額補正は、何社を想定しているのか。

答 当初の見込みよりも各企業の業績が全般的に良かったということ、特に何社ということで見込んでいない。

負担金の減額

問 印西地区環境整備事業組合負担金の減額理由は。

答 1億1253万1千円の減額理由は、各種委託料の契約差金等により、組合予算の減に伴う減額である。

当初

市民の安全を確保

問 防犯カメラ設置事業補助金200万円による設置予定数は。

答 町内会、自治会に対する設置補助として10台のほか学校に取り付ける予定。



交通網の空白地域の解消へ

問 本荘第二小学校周辺地域巡回車両運行業務委託の内容は。

答 乗り合いタクシーを活用した形態の実証運行で、ワンボックスサイズの車両の運行を考えている。

補正

将来事業に基金で備え

問 教育施設整備に係る基金の積み立て10億円の根拠は。

答 平成30年度予算に文化ホールの改修設計予算が入っている。翌年度以降の改修費等として積み立てる。



保健福祉基金積立金の4億17万5千円の根拠は。

答 来年度以降保育園、または保健施設等の改修等を見込んでおるので、前もって積んでおくものである。

補正

反対討論

臨時財政対策債の起債を取りやめ、そのほか基金の積み立てを大幅に増やすことに納得ができない。市民の暮らしのため、非正規職員、保育士的大幅な賃金アップを講ずるべきと考え反対する。

当初

空き家対策が一歩前進

問 住生活基本計画推進事業に新たな予算が計上されているが何か。

答 空き家対策協議会をつくり、平成30・31年度で空き家対策計画を策定する。



ごみ減量化の促進

問 DVD映像制作委託で何をつくるのか。

答 ごみ減量化、特に生ごみ処理について数分程度の映像で、編集からすべて委託する。ホームページ等で動画という形で掲載する。

当初

中学生の海外派遣研修

問 国際理解教育推進事業の業務委託の増額理由は。

答 中学生の海外派遣研修に829万円の業務委託料を計上しているため。



印西の魅力発信へ

問 シティーセールスに要する経費とは。

答 千葉ニュータウン中央駅のイルミネーション、シティープロモーションのコマーシャル映像の作成、「ずっと、このまち印西で」というキャッチコピーのビジュアル化などの3事業を実施する経費。

当初

福祉タクシー

問 利用者数を拡充

問 高齢者福祉タクシー事業費の増額理由は。

答 547万円の増額は、いまままで介護認定3、4、5の方に交付していたタクシー券交付を、要介護1、2の方まで対象範囲を広げるため。



障がい者に寄り添う

問 障がい者自立支援給付事業の相談支援事業費が前年度比2倍になった理由は。

答 相談事業の委託から、基幹相談センターの委託ということで、相談機能を充実する。

当初

サザンプラザを大規模修繕

問 コミュニティセンターの管理運営に要する経費の工事請負費2億2327万5千円は。

答 サザンプラザの大規模修繕工事費である。また、フレンドリープラザの大規模修繕に向け工事設計予算を計上している。



職制を見直し

問 職員研修の増額理由は。

答 課長補佐・係長制の導入により、係長職に就いた職員のための管理監督研修を実施するため。

当初

スポーツ広場に

問 ナイター設備設置へ

問 社会体育施設維持管理に要する経費の設計委託料は。

答 印旛高校跡地のスポーツ広場ナイター照明の設計業務委託を計上している。



当初

反対討論

広報紙編集印刷業務委託及び新聞折り込み委託について、新聞販売店の新聞折り込み部数が真正とは想像しがたく、新聞社への問い合わせもせず、代替策も検討せず、公正取引委員会が排除命令を出していることを支えに予算を立てていることは看過できない。

3月定例会は、2月19日から3月20日までの30日間、開催されました。

冒頭、市長の施政方針演説があり、定例会がスタートしました。

市長提出案件は、条例の制定14件、平成29年度補正予算7件、平成30年度当初予算6件、訴えの提起1件、その他3件、人事12件で、それぞれ慎重な審議が行われました。

なお、議案の議決結果は、19ページ、賛否が大きくわかれた議案の討論は、22ページに掲載しています。

我が市政を問う

一般質問

平成30年第1回定例会では2月21日から5日間、17人の議員による会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 日本共産党 (山田 喜代子) P7
- 2. 響(ひびき) (金丸 和史) P8
- 3. 至 誠 (小川 義人) P9
- 4. 新 政 (軍司 俊紀) P10
- 5. 創 進 (増田 葉子) P11
- 6. 公 明 党 (浅沼 美弥子) P12

個人質問

- 1. 伊藤 真一 P13
- 2. 橋本 和治 P13
- 3. 小川 利彦 P14
- 4. 松尾 榮子 P14
- 5. 玉木 実 P15
- 6. 岩崎 成子 P15
- 7. 稲葉 健 P16
- 8. 山本 清 P16
- 9. 海老原 作一 P17
- 10. 近藤 瑞枝 P17
- 11. 米井 重行 P18

会派代表質問

県営も市営住宅も無いのは

印西市とあと一市

「日本共産党」山田喜代子 議員

質問1 UR(都市再生機構) 賃貸住宅の空き室が増え続けている。5階のうち1軒しか住んでいない、あるいは5階まで全てが空き室のところもある。この状態は防犯面の弊害を生み、地域のコミュニティーをも

崩壊させていく。県内では空室を市営住宅として活用している市がある。

八千代市では、UR空き室29戸を市営住宅として活用。市からURへの支払いは約908万円。市民が市へ支払う家賃は約409万円。差額の半額は国の補助金がある。実質、市の負担は約250万円だ。成田市では15戸借り上げ、同様の計算で市の負担は約120万円。船橋市は569戸で、市の負担は3億3千万円。松戸市は平成30年度から始まる。因みに県内での市営住宅の状況は、我

孫子市306戸、鎌ヶ谷市146戸、佐倉市231戸等々で、県営も市営住宅もない市は、印西市とあと一市。市民は、印西市に永く住み続けたい。市長は、市民目線でその思

いを受けとめ、市営住宅設置の方向で舵を切っていただきたいがどうか。

市長 URと話してみたい。

質問2 北総線高運賃問題について、運賃値下げの実現に向けて具体的にどう行動していくのか、計画を立てるべきではないか。

市長 県及び6市が足並みをそろえて協調して進めていくというのが基本的な流れと考える。現在、利用者増の具

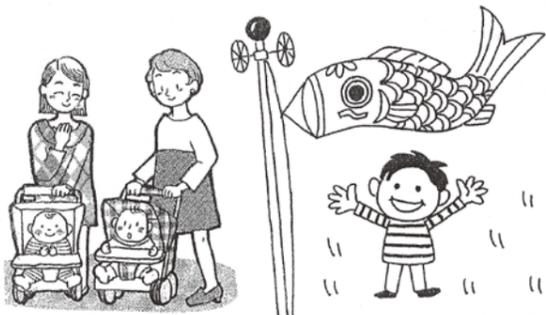
体策について各自治体からの提案を持ち寄り取りまとめているところだ。

再質問 線路使用料の協定更新期日は30年3月だ。口答でなく文書で申し入れる考えはあるか。

答弁 3月であることは認識している。会社には文書をもって要求したい。

質問3 高花給食センター、旧永治小学校跡地は売却ではなく、不足している施設、例えば保育園、介護施設、障がい者施設等に市有地を活用すべきではないか。

市長 大事な財産だ。できうれば活用したい。



人口10万人到達記念イベント

「響（ひびき）」金丸和史議員

質問1 予算が成立してからとなるが、現在、予定している記念イベント内容は。

企画財政部長 10万人到達した方への記念品の贈呈、「いんざいふるさとまつり」の開催、印西市のプロモーションイベントとしてイルミネーションを予定している。

再質問 イルミネーションは、いつ頃を予定しているのか。

答弁 秋頃の「いんざいふるさとまつり」の開催日に点灯式を行い、概ね来年の年始頃までを想定している。

再質問 記念イベントを盛り上げるための市民公募は行わないのか。

答弁 行わない予定である。

質問2 平成30年度の組織の改編計画は。

総務部長 「改革の三本柱」をもとに、現在調整している。

- ①総労働時間の縮減を図る「事務の平準化、効率化」
- ②組織体制の強化及び政策、公約の実現を図る「政策部門の強化」
- ③事務ミスの防止及び職責の明確化を図る「職制の見直し（係長制度

の導入）」である。

再質問 以前から言っている「住宅政策課」の新設は。

答弁 現行の建築指導課を継続することを考えている。

質問3 パスポート発券業務の予定は、7月に基金を設置するのは議案で分かったが、スケジュールに変更はないか。

市民部長 4月に交付準備室を設置し、事務体制の整備や研修等を行い、10月1日開始に向け、遺漏がないよう進めていきたい。

再質問 市外からの申請が多いのではないかと思う。市民限定としている市もある。一義的には印西市民のサービス向上のために行う事業であり、あまりに市外からの申請が多い場合の考えは。

答弁 県民を対象とする事務であることから、窓口の混雑など支障がないように、比較的空いている曜日や時間帯の案内をする等の広報の仕方や運用方法の工夫等、状況に応じて対策を講じたい。

業務継続計画の実効性を高めよ

「至誠」小川義人議員

質問1 印西市では、大規模災害が発生した状況下での業務継続計画を策定しているが、実効性はあるか。

市長 当該計画の実効性を高めることで、災害応急対策の迅速化も図れると考え、各課に対し、災害時の個別対策マニュアルと併せて、災害発生時の対応に遺漏のないよう指示している。

再質問 具体的事例を参考にするために、職員が被災地へ視察に行つてはどうか。

総務部長 被災地における災害対策の事例については、千葉県や内閣府が主催した講演会や研修会に積極的に参加し、被災地の市長や災害対応に携わった職員などから被災地の現状、具体例、活動内容及び課題等について、研修した。

再質問 より実効性の高い計画にするため職員体制づくりはどうしているか。

答弁 職員の防災に対する意識の底上げを図ることが重要であることから、平成29年度当初に災害の個別マニュアルの確認を行い、職員の参加訓練を実施した。

質問2 災害対策本部での市議会の位置づけはどうなっているか。

総務部長 現行の地域防災計画では、市議会の位置づけは特に明記されていない。

再質問 災害発生時に、議員は地域の情報量が多いことや避難所のリーダーになるなどの利点も考えられるが、議員の役割をどう考えているか。

答弁 災害発生時の情報収集は極めて重要と考え、議員各位には地域の被害状況や避難者の状況といった災害に関する各種情報の提供をお願いしたい。また、市議会には、市災害対策本部が迅速かつ円滑な応急対策に全力で専念できるよう必要な協力・支援をお願いしたい。

再質問 市議会との情報共有はどのように行うのか。

答弁 議会事務局長が災害対策本部員に指名されていることから、議会事務局が所属する応援班を通じて、災害対策本部と情報共有を図ることは可能であると考えている。



買い物支援の充実と

保育園施設の早期整備を

「新政」軍司俊紀議員

質問1 地域包括ケアシステムの構築に向けて、市では買い物支援についてどのような考え方を持っているのか。

市長 今後、団塊の世代が後期高齢者に達する2025年を控え、在宅生活を継続するために必要なサービ

スであると認識している。現在、地域の

実態把握や課題抽出を行っている。現状としては、市社会福祉協議会、市シルバー人材センター等でサービスの提供を行っている。また、本埜圏域で、地域ケア会議での検討をもとに、買い物支援バスを2カ月に1回実施している。

再質問 本埜圏域以外の市全体として買い物支援はどうか。

健康福祉部長 印旛圏域の吉田地区では、地元の有志による高齢者への買い物支援の地域活動に取り組みられていると聞いている。市では、買い物支援の取り組みが市全体で行われるよう、地域ケア会議等の関係機関等と連携を図り、進めていきたい。

再質問 例えば、宅配を行っている

店の情報発信は考えられないか。

答弁 現在市では情報発信を行っていないが、情報収集に努めていく。

質問2 子ども子育て支援について、印西市子ども子育て会議では、現状の保育児童数をどのように考えているのか。

市長 会議でも議論され、子育て世帯の転入で保育需要が高まっていると認識している。

再質問 中央南のマンションに認可保育園が開園すると聞くが進んでいるのか。

健康福祉部長 10月頃の開園を目的に、計画を進めていると事業者から聞いている。

再質問 10月に保育園が開園したとしても、今後の住宅供給状況を考えると、保育児童が減ると思えない。平成31年の春には3つ保育園ができるということだが、国・県との協議は進んでいるのか。

答弁 国及び県に事前協議書を提出する予定で準備を進めている。

ニュータウンに文化施設、保健センターを

「創進」増田葉子議員

質問1 現在ある公共施設の整備が終わってから、ニュータウン地区では人口が急増している。ニュータウン中央地区に文化施設を整備する必要性をどう考えているか。

教育部長 前向きに検討する必要があると考えている。

再質問 検討すべき文化施設とはど

のような内容のものか。

答弁 文化芸術活動の場となるような施設と考えている。

再質問 整備に向けてはどのような手続きが必要か。

答弁 総合計画の基本計画、実施計画に位置付けることが必要ではないかと考えている。

再質問 総合計画に位置付けるのは、「整備」か「整備の検討」か。

答弁 既存施設の機能拡充を含め、次期総合計画の中で「整備」したいと考えている。

再質問 計画に位置付けることは財政的裏付けとなる。今から、どこに、どんな内容の文化施設を整備するか、市民や関係団体を巻き込んで写真を描いていく必要がある。現在、

健康福祉部長 保健センター機能の充実には必要であると認識している。今後、保健センターの在り方について、検討していきたい。

再質問 建物は改修して使うのか、新たに建設するのか。

市長 建物の状況も確認しつつ、判断したい。



整備が進む保育園



お知らせ

請願・陳情書の提出ができます。詳細は議会事務局まで。



お知らせ

市役所1階行政資料コーナー、市議会ホームページで政務活動費収支報告書が閲覧できます。

持続可能な開発目標

SDGsに取り組もう

「公明党」浅沼美弥子 議員

質問 SDGs II エスディーズ についての認識は。

企画財政部長 SDGsは、2015年に国連サミットで採択された2030年を期限とする持続可能な開発目標であり、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むための世界共通の目標である。国においては2016年に、S



DGs推進本部を設置。2017年12月、「SDGsアクションプラン2018」が公表されている。
再質問 平成29年8月、SDGsに関する国のアンケート調査にどのように回答したのか。

答弁 認知度は「今回の調査で初めて認識した」、取組状況は「現在推進しておらず今後の予定もない」と回答した。

再質問 SDGsで掲げる17の目標は、互いに関連しており課題解決の糸口となるものだ。現在市が推進している施策に反映しやすい。積極的に取り組んではどうか。

答弁 自治体の取り組む事業には、国策の実施指針における8つの優先課題に合致するものがある。市と

しては次期総合計画の策定などに当たり、国の指針や、他自治体の動向等を注視していきたい。

再質問 具体的にSDGsに関連する市の事業は。

答弁 「健康・長寿の達成」の分野では、いんざい健康ちよきん運動や地域包括ケアシステムの構築、がん検診の受診率向上など関連する既存事業は多々ありと認識している。

再質問 SDGsに対する理解促進策の考えは。

答弁 国からの情報などは、庁内での共有を図り全庁的な課題として意識を高めていく。また、各種計画策定時や関連事業実施の中で、市民はじめ企業などへの周知を図り、理解促進につなごう。

再質問 次期学習指導要領にSDGsの理念が反映される。教育分野の認識は。

教育長 SDGsの考え方について、子供たちが関心をもって考えるような教育活動が必要であると認識している。

個人質問

公衆トイレをもっと使い易く

伊藤真一 議員

質問 足腰が悪い方などは、和式の公衆トイレを使うのが嫌で、わざわざコンビニへ行く方もいると聞かすが、和式・洋式・多目的トイレの有無について把握しているのか。

都市建設部長 公衆トイレで、洋式便器が無く、多目的トイレも無いのは「浅間山公園」と「印旛西部公園」の2箇所、多目的トイレのみが無いのは「松山下公園」と「印旛中央公園」の2箇所となっている事を把握している。
再質問 足腰の悪い方のために、和式の場合に手すり等を設置する考えは。

答弁 要望があった時は、トイレの構造上設置が出来る場合は、設置を検討したい。

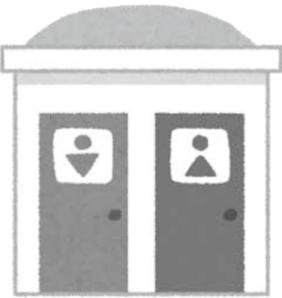
再質問 公衆トイレについて、市民からいくつかの要望があった。その一つとして、トイレのドアに「和式」「洋式」の表示があると便利との意見

があったが、この様な利便性の向上についての考えは。

答弁 意見があった事については、前向きに検討する。

再質問 近年、LGBT(性的マイノリティ)の方のトイレ使用時の問題も取り上げられているが、計画的に洋式化・多目的化をする必要性についての考えは。

答弁 洋式化については、破損や老朽化等による改修時にやりたい。多目的トイレについては、バリアフリーの観点から検討している。



個人質問

起震車(地震体験車)の活用と民泊への対応

橋本和治 議員

質問1 様々な地震体験が可能な起震車(地震体験車)が防災訓練で活用されている。本市でも、使用したと思うが、市として起震車の活用に関する考えを伺う。

総務部長 起震車は、市総合防災訓練において活用している。平成30年10月28日実施予定の市総合防災訓練において、起震車を活用し、参加者に地震体験をしようとする予定。
再質問 比較的小規模な組織は防災訓練に起震車を使いたくても、県からは貸してもら



写真提供：BCN

えない。NPOに依頼するとかなりの出費となる。市内の防災会が起震車を利用できるように新たな補助金制度を創設する考えはないか。

答弁 現段階では、起震車に特化した補助や助成を行う考えはないが、効果的な取り組みについて今後検討したい。

質問2 住宅宿泊事業法が30年6月15日に施行される。市は民泊に対してどのようなスタンスで取り組むのか。

環境経済部長 民泊に関しては、各地でトラブルが発生していることから、市としては、市民の生活環境を悪化させないことを第一に考え、県の動向を注視したい。

再質問 市内の分譲マンションの民泊対応について調査する考えはないか。

答弁 各マンション管理組合の総会が終わったなら、民泊等の動向調査を行いたい。

平成30年第2回定例会で予定されている一般質問は、5月25日(金)以降、ホームページに掲載します。



お知らせ

本埜地区の小学校統廃合問題

個人質問

小川利彦 議員

質問 教育委員会では、学校適正規模・適正配置基本方針の中で、本埜第一小学校は滝野小学校と、本埜第二小学校は小林北小学校との統合案を示された。しかし、本埜地区では反対者が多く、本埜第一小学校と本埜第二小学校との統合を望む方々が署名活動を行い、約3700名もの賛同が集まった。このことについての受け止めは。

教育部長 既存地区に学校を残してほしいという方々が多いと感じた。



再質問 本埜第一小学校と本埜第二小学校の統合の検討は。
答弁 本埜中学校を含めた義務教育学校の設置として検討をしたが、適正化が図れない。

再質問 要望書及び署名簿の提出を受け、改めて基本方針の見直すつもりはないか。

答弁 基本方針の見直しを図る考えはないが、統合については、要望書及び署名を頂いたことから、再度検討を行うたい。

再質問 本埜地区からの要望書と署名を、どのように考えているか。

教育長 方向性については、ご意見等を踏まえて検討を行いたい。

再質問 学校設置者の市長としてはどのように考えるのか。
市長 保護者や地域の方々のご意見等を踏まえ、教育委員会とよく協議して、結果を出してもらいたい。

市内大学との連携強化と 公用車管理

個人質問

玉木実 議員

質問1 我孫子市では、スポーツ振興応援団が実施する市内大学の箱根駅伝応援バス等を市のホームページに載せている。印西市も同様にこれらの応援支援をしてはどうか。
教育部長 我孫子市同様に対応していく。

質問2 公用車の事故状況は。

総務部長 公用車は、現在210台を所有しており、公用車の事故は近年減少傾向にある。

再質問 公用車の維持管理費はどうか。

答弁 管財課は一般会計に属する車両を管理して、出先機関とその他会計の車両はそれぞれの課で計上している。

再質問 事故が多い部署は。



答弁 教育部と健康福祉部が使用する回数も多いことから件数が多いと思う。

再質問 事故を起こした職員にペナルティーはあるか。

答弁 ペナルティーはある。

再質問 安全対策でドライブレコーダーの設置は。

答弁 平成30年度、消防車両以外の公用車に、ドライブレコーダーを設置する計画である。

印西市の安全・安心力 (警察機能)の向上を

個人質問

松尾榮子 議員

質問 市民が様々な機会に訪れる印西警察署本館は昭和49年の建築で築44年とのことだが耐震構造は大丈夫か。建て替え等の予定はどうか。

市民部長 県警では印西警察署本館の耐震改修工事に関する設計費を県の新年度予算案に要求しており、平成31年度以降に耐震・内外装改修工事を行う予定と聞いている。

再質問 中央駅前交番は昭和60年の建築で築33年になる。同施設は老朽化のほか、ここ30年間の中央駅周辺の人口急



商業施設や高層住宅が立ち並ぶ中央駅周辺

増、商業・業務施設の増加、国道464号や北千葉道路、船橋・印西線等の道路環境の変貌に対して機能が小さいと思うが、市はどう考えるか。
答弁 地域の現状を踏まえた上で、老朽化等により業務に支障がないよう建て替え等が望ましいと考えている。

再質問 印西市は、ここ30年来目覚ましい変貌を遂げ、人口も30年前の2万人前後から近々10万人を突破する見込みとなっている。現在の警察機能は、市内各地区の安全・安心を守るために効果的な配置か、不足のところはないか、市全体の安全体制を再度確認し、警察機能の向上を要望していく考えはないか。
市長 県の機関であり、市選出の県議会議員ともよく相談し市民が安全・安心に暮らせる体制を整えていただければ、よく協議していきたい。

個人質問

保育園の施設整備で 待機児童の解消を

岩崎成子 議員

質問 子育て世代の人口流入や共働き家庭の増加が主要因で現在、保育園の待機児童が増えている。現況は。

健康福祉部参事 待機児童は、平成29年10月1日現在、217名となっている。

再質問 待機児童解消の対策は。

答弁 30年度の民間保育園の開園に向けた施設整備を進めている。牧の原地区に(仮称)かふう保育園いんぎい、中央



北地区アルカサル内に(仮称)しおん保育園分園、戸神地区に(仮称)星虹第二保育園の3園、定員総数236名分が4月当初に開園する予定となっている。また、29年度に創設した保育士宿舍借り上げ支援事業及び保育補助者雇い上げ強化事業に要する経費に対する補助や民間保育園等に勤務する保育士及び保育教諭の処遇改善として、保育士1人当たり月額3万円を上限とした給与の補助を引き続き実施していく予定である。

再質問 子育て世代、共働き家庭の増加で、保育園がさらに不足すると思われるが、今後の施設整備はどうか。
答弁 現在、30年度中に保育園の施設整備を実施する事業者と準備を進めているところである。引き続き待機児童の解消のため施設整備を推進していきたい。

個人質問

認知症高齢者へ 賠償責任保険加入を

稲葉 健 議員



質問 市内の認知症の状況は。

健康福祉部参事 厚生労働省

が平成26年度に実施した「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」によると65歳以上の人口の15.5%が認知症有病率である。これを参考に市に例えると3400人程度の方が認知症状態を有していると推測される。

再質問 市内の認知症の状況を確認する方法は。

答弁 介護保険制度に基づく要介護認定を受けられた方に限り把握は可能。

再質問 介護保険制度での状況は。

答弁 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準において2298人が何らかの認知症を有するとされている。

再質問 市内で認知症が原因

での事故の事例は。

答弁 これまで報告や相談はない。

再質問 認知症の方が徘徊等で事故を起こした場合、先進地では家族の不安を解消するのが狙いで、市が賠償責任保険に加入して補償に取り組み事例があるが、見解は。

答弁 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう認知症に関する施策を展開している。今後他市の動向を注視する。

個人質問

災害時に支援を要する人への 支援体制は

海老原作一 議員

質問1 災害時の要援護者は登録制になっており、要援護者の避難のための個別計画が地域支援組織によって作成されることになっているが、個別計画の見直しは進んでいるのか。

健康福祉部参事 進んでいないのが現状であり、関係各課と連携し対応していきたい。

再質問 進まない理由は何か。

答弁 個人情報取り扱いや地域支援組織の情報引き継ぎ等に課題がある。

再質問 地域支援組織に対し、個人情報取り扱いに関する手引きや避難支援の個別計画作成の手引き等の計画作成ツールを用意するなど、市の支援体制が必要ではないか。

総務部長 今後の計画見直しの中で、地域支援組織向けのマニュアル等の整備を検討していきたい。

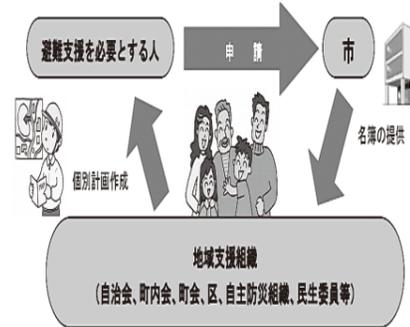
再質問 要援護者に対する災

害時の避難支援の取り組みに対し、関係する各課の中で最終的に責任をもつ課は、防災課という理解でよいのか。

答弁 今後、防災課を中心として、避難支援計画の見直し、避難支援体制の確立に取り組んでいきたい。

質問2 財政調整基金の規模に対する考えはどうか。

市長 財政調整基金は、40億円以上を維持し、公共施設等の老朽化に伴う財政需要の増加を勘案し、基金の積み立てに努めている。



個人質問

北総鉄道の路線使用料 改定される見通しは

山本清 議員



質問1 北総鉄道が京成電鉄子会社から線路を借りている小室・印旛日本医大間の線路使用料協定は、10年ぶりの改定時期を平成29年度の年度末に迎える。市長は最近、この鉄道会社2社および両者の親会社、京成電鉄に対して、線路使用料を適正化して、北総線運賃を値下げするよう求める要求書を送付した。この改定の内容がどうなると市は

見ているか。

市長 北総鉄道は、株主総会の席上で、「千葉ニュータウン鉄道の累積債務の解消」という条件が満たされていないため、見直すことはできない、と明言している。よって、今回の更新では、内容の見直しは厳しいもの、と推測している。

質問2 平成29年度、いくつの横断歩道が補修されたか。

市民部長 今年の1月末現在、原小学校周辺の交差点4カ所、西の原小学校周辺の交差点3カ所、その他、3カ所を含めた合計10カ所の補修を確認している。以前より要望し、未実施となっていた15カ所については、印西警察署に確認したところ、通学路や事故の発生状況、交通量などの状況により実施しており、今後も予算の範囲内で順次、補修していく、と聞いている。

個人質問

助かりますね おさがりマルシェ

近藤瑞枝 議員



おさがりマルシェ

質問1 ごみ分別推進アプリ「さんあーる」登録数を伺う。

環境経済部長 平成29年度1月末現在、3003人である。

再質問 買い物でのマイバッグ持参率を把握しているか。

答弁 調査の結果、レジ袋有料店舗51%、袋辞退者特典店舗30.5%、無実店舗23%、全体で34.8%であった。

再質問 大好評の子ども服リユース事業「おさがりマルシェ」を広く周知するため、市内幼稚園・保育園・学校にも協力依頼をしてはどうか。

健康福祉部参事 30年度から5圏域の地域包括支援センターに委託して実施する。より市民に身近となり、地域の実情を踏まえた集いの場となる。

質問4 公園の防犯カメラ設置をどう考えるか。

都市建設部長 犯罪防止等の観点で有効であるが、利用者への配慮も必要のため、先進地の状況を調査研究していく。

個人質問

船尾地先の市道バイパス
部分区間供用で進展

米井重行 議員

質問 千葉竜ヶ崎線から船橋印西線を結ぶ区間の部分供用は、関係機関と協議中であるが、その後の状況は。

都市建設部長 主要地方道千葉竜ヶ崎線と、船橋印西線を結ぶ区間を先行して部分供用させるため、千葉県公安委員会との道路協議を進めており、年度内に整う予定だ。

再質問 船尾と町田区間をどのように部分供用するのか。

答弁 千葉竜ヶ崎線と、船橋印西線を結ぶ区間を部分供用するには、県道2箇所の交差点改良と、市道の残工事を実施する必要はある。千葉竜ヶ崎線との交差点では、信号機の移設や、右折レーンの増設を行い、信号制御による十字交差点に改修する。また、船橋印西線に新設する交差点では、信号機無しの一時停止制御による丁字交差点として暫定形での整備を予定している。



戸神川への橋台基礎杭工事風景

再質問 出来た所から部分的に開通することにより、少しでも、子供達の危険回避、地域の皆さんの交通不便解消ができる。部分供用区間の今後のスケジュールは。

答弁 先行して部分供用する区間の、交差点改良工事や舗装工事、交通安全施設工事を実施して、平成31年度中の工事完成を予定している。供用開始については、工事完成後、必要な手続きを経て、速やかに開通を実現したい。

東京都
「八王子市議会公明党」が
視察に来庁

平成30年1月24日(水)、東京都「八王子市議会公明党」の議員7名が視察に訪れました。

視察内容は、「印西市中央学校給食センターについて」でした。藤代議長から歓迎の挨拶、中央学校給食センター所長が事業説明を行い、施設内を見学していただきました。



訂正とお詫び

議会だより183号(2月15日発行)の櫻井正夫議員の一般質問掲載記事に誤りがありました。お詫びを申し上げますとともに、訂正いたします。

《誤》
答弁 市では地域ぐるみで捕獲している町内会に狩猟免許取得補助、わな免許取得補助、捕獲交付金、小型獣用箱わなの貸与等をしている。

《正》
答弁 市原市では地域ぐるみで捕獲している町内会に狩猟免許取得補助、わな免許取得補助、捕獲交付金、小型獣用箱わなの貸与等をしている。

市としては、地域から捕獲組織立ち上げの相談があった際には、これらを参考に支援をしていきたい。

平成30年第1回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥 ※議長(藤代武雄)は採決に加わりません。
※賛否が分かれた議案のみ掲載いたしました。

番号	件名	議決結果	伊藤真一	稲葉健	小川利彦	玉木美	米井重行	櫻井正夫	浅沼美弥子	岩崎成子	海老原一	近藤瑞枝	橋本和治	増田葉子	松尾榮子	山本清	小川義人	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	酢崎義行	藤代武雄	
《議案》(市長提出議案)																								
議案第5号	印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第6号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第7号	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第8号	印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第11号	印西市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第12号	平成29年度印西市一般会計補正予算(第6号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第16号	平成29年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第17号	平成29年度印西市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第18号	平成30年度印西市一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第19号	平成30年度印西市国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第21号	平成30年度印西市介護保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第22号	平成30年度印西市後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第24号	訴えの提起	可決	○	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—
議案第28号	印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第29号	印西市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

平成30年第1回定例会 全会一致(可決・同意)議案一覧

番号	件名	番号	件名
《議案》(市長提出議案)			
議案第1号	印西市一般旅券収入印紙購入基金条例の制定	同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること(小林哲也氏)
議案第2号	印西市障がい者サポートセンターの設置及び管理に関する条例の制定	同意第2号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(荒井一和喜氏)
議案第3号	印西市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定	同意第3号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(岩井誠氏)
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第4号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(櫻井健一氏)
議案第9号	印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意第5号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(佐瀬知子氏)
議案第10号	印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定	同意第6号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(篠田道雄氏)
議案第13号	平成29年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	同意第7号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(篠塚猛宏氏)
議案第14号	平成29年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	同意第8号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(清水真氏)
議案第15号	平成29年度印西市介護保険特別会計補正予算(第4号)	同意第9号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(丹谷一男氏)
議案第20号	平成30年度印西市下水道事業特別会計予算	同意第10号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(森田文雄氏)
議案第23号	平成30年度印西市水道事業会計予算	同意第11号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(米井絹恵氏)
議案第25号	印西市道路線の変更	同意第12号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(和田和弘氏)
議案第26号	印西市道路線の廃止		
議案第27号	印西市道路線の認定		
議案第30号	印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定		
議案第31号	平成29年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。
 3月8日に総務企画常任委員会、3月9日に文教福祉常任委員会、3月12日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。
 ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

精神障がい者の自立に 有効な施策を

文教福祉常任委員会

障がい者サポートセンター

設置管理条例

【内容】印旛高校跡地に、主に精神障がい者の自立支援、相談支援の充実のため、「ふれあいサポートセンターいんざい」を設置し、今後選定される指定管理者による適切な管理等を規定する条例制定。

問

民間の障がい福祉事業所が次々とできていく中で、市としてどのような福祉サービスを行おうとしているのか。

答

市内に精神障がい者の福祉事業所が少なかったために設置したが、広く親しんでもらいたい。自立支援では、社会に出られない方

に、訪問により社会参加を促し、就労につなげていきたい。訪問型は大変珍しい事業である。



障がい者サポートセンター建設地
(印旛高校跡地)

【審査結果】

- 印西市障がい者サポートセンターの設置及び管理に関する条例の制定 〈可決〉
- 印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定〈可決〉
- 印西市立幼稚園保育料等に

関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

- 印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

パスポート発給に向けて

総務企画常任委員会

印西市一般旅券収入印紙購入基金条例の制定

【内容】平成30年10月1日より、印西市中央駅前出張所においてパスポート(一般旅券)の発給事務を行うに当たり、発給申請に必要な収入印紙について基金により購入し、管理を行うため必要な事項を定めるもの。
印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
【内容】国民保険法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

例の制定

〈可決〉

- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉

- 印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉



- 【審査結果】
- 印西市一般旅券収入印紙購入基金条例の制定 〈可決〉
- 印西市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条

花火打ち上げに関わる 反訴を可決

建設経済常任委員会

訴えの提起

【内容】市制施行20周年記念花火大会に係る花火打ち上げ業務委託契約の契約不履行により市が被った損害額の支払いを求め訴訟を提起するもの。

問

先方から出された報告書の中身と市の記載内容に微妙なところがあるが、理由は、資料を受領する前に面談をした。それからまた更に枝分かれするそうだができなかった。この話が資料受領以後は出てこなくなったためである。

答

資料を再確認したが、三十数カ所通じなかった。契約に則り、話し合いで解決される問題が解決できなかつた。金銭の問題ではなくて、将来の印西市を

中心に考えるべきであり、業者が市民でもあり、納税者でもあるということも考えたい。本訴の裁判で結果が出るため、別の裁判を起こす必要はない。

【審査結果】

- 印西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定 〈可決〉
- 印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定〈可決〉
- 訴えの提起

可否同数となり、委員
長裁決により可決

- 印西市道路線の変更〈可決〉
- 印西市道路線の廃止〈可決〉
- 印西市道路線の認定〈可決〉

平成29年度議員の出欠簿を公開します

本会議は定例会が4回、臨時회가1回開催されました。

次に、委員会については常任委員会（総務企画・文教福祉・建設経済・予算審査）、議会運営委員会及び特別委員会（議会改革推進・決算審査）が開催されましたが、各委員会ごとに開催回数異なるため、出席必要日数も各議員によって異なります。また、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、出欠簿には記載してありません。

議席番号	議員氏名	本会議			常任委員会			議会運営委員会			特別委員会			全員協議会		
		出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数 (視察含む)	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出	出席必要日数	欠席日数	遅刻・外出
1	伊藤 真一	28			11								6			
2	稲葉 健	28			11					10			6			
3	小川 利彦	28			12			14		10			6			
4	玉木 実	28			11								6			
5	米井 重行	28		2	14			14	1	14			6	1		
6	櫻井 正夫	28			14					13		1	6			
7	浅沼美 弥子	28			11	2		16		1			6		1	
8	岩崎 成子	28	1	1	15			2		4	1		6			
9	海老原作 一	28			14			2		14			6			
10	近藤 瑞枝	28		1	12					1			6			
11	橋本 和治	28			15					13			6		1	
12	増田 葉子	28			11			14	1				6			
13	松尾 榮子	28			11			2					6	2 (公務)		
14	山本 清	28	2		14	6	1			4			6	1	1	
15	小川 義人	28			14			14	1	1	13		6			
16	軍司 俊紀	28			11			14					6			
17	金丸 和史	28			15	2		16		10			6			
18	板橋 睦	28		1	12	1							6			
19	山田喜代子	28			14			16		14			6			
20	酢崎 義行	28			14			2					6			
21	藤代 武雄	28			9			2					6			

編集後記

今定例会では、平成30年度当初予算が賛成多数で可決成立しました。この予算で今年度の事業がスタートします。議案「訴えの提起」では、建設経済常任委員会の審査で可決となり、委員長裁決により可決し、本会議でも、賛成多数で可決しました。この審議において、多数の議員から賛成・反対の討論がありましたので、その一部を掲載しました。

また、今号より「市民の声」の投稿を、今年成人式を迎えた方をお願いをすることにしました。これからの印西市を担って行く若者達の市政に対する考えを掲載していきます。

委員長 酢崎 義行
副委員長 海老原作 一
委員 伊藤 真一
稲葉 健
小川 利彦
玉木 実
米井 重行
浅沼美 弥子

討論

花火打ち上げ訴訟

「議案第24号 訴えの提起」の審査は、付託先の建設経済常任委員会では、可否同数となり、委員長裁決で可決となりました。本会議では賛成12、反対8で可決となりました。

この議案に対する討論の一部を掲載します。

賛成

委託業者から、花火打ち上げ開始直前まで、主催者である印西市に「打ち上げ現場の状況が悪い」という報告は一切なく、早い段階で印西市に状況を報告するべきであった。また、慣例的に花火業者が打ち上げしている試験弾も、普通2回打ち上げると聞いているが、1回も打ち上げていなかった。私は、反訴してこの結論を出して、早く解決するように望んでいる。

賛成

印西市は相手方の訴えに反訴している。原告は、訴えの変更や請求の併合という審判対象の変更が認められているため、被告である印西市はその審判対象に反論することのみ対応となる。審判の過程ではきわめて不公平となる。法は、不公平の存在を理由に、反訴を認めている。花火打ち上げが完遂できなかった原因究明を、双方にとって公平な審判の中で、裁判所の判断を仰ぐ必要があると考え、訴えの提起に賛成する。

反対

業者からの訴訟に対し、応訴したことは反対しないが、今の時点での反訴はどう考えても理解できない。以下の点で反対する。

- ① 市制施行20周年記念花火大会中止問題等調査特別委員会の報告の議事録を読んでも落ち度はなかったと市は言いきれないのでは。
- ② 市は仕様書にのっとった確認作業は行っていないかつた。
- ③ 花火打ち上げ中止の最終判断は、大会責任者である市長が行った。
- ④ 未だに市としての結果報告がでない。

反対

今回の件はスラップ訴訟にあたる可能性はないか。市が市内法人や市民を訴えるのは慎重の上にも慎重であるべき。市として市の正当性を証明したいのは分かるし、裁判上のテクニクも承知している。しかし、市民の立場を代弁すべき市議会議員として市のこのような行為に加担する事はできない。



市民の声

『政治とともに成長を』

滝野中学校卒

大井 陸央



今年の1月に私は成人式を終えました。しかし誠に恥ずかしながらこの「市民の声」コーナーを書いて欲しい、というお誘いをもらう以前まで印西市政に関してはほとんど無知な状態でした。「いんざい議会だより」を読むようになったのはそれからです。「いんざい議会だより」を読んだら、「構想を持った新施設の整備をして欲しい」、「北総鉄道株主総会の後、市は何をしてきたのか」等、実際に議会で議論されている問題や、他県の視察をし、その良いところを印西市に活かそうという試みも掲載されていました。自分の知

らなかつた印西市、そして印西市のことを真剣に考える人たちのリアルな声がそこにはありました。

現在印西市には約10万人が住んでいます。では10万人の中でこの「いんざい議会だより」を読んでいる人はどのくらいいるのでしょうか。若い年代ほど投票率が低いといったデータも存在するように、若者一人一人の政治への意識も変えていかななくてはならないのですが、それと同時に若者や政治への関心が薄い人の目をどのように政治に向けさせるかということが今は最も重要だと思えます。私が小学生の頃は国会を見学しに行きましたが、それよりもまず印西市議会を先に傍聴すべきだと私は思います。幼少期のころから身近な議会に触れさせることがより多くの人が政治に目を向ける一つのきっかけになるのではないのでしょうか。私も国民として、印西市民として、一人の成人として、これからより一層しっかりと政治に向き合っていきたいです。

議会を傍聴してみませんか

第2回 定例会会期予定及び日程

次の定例会は、6月1日(金)から6月21日(木)までの会期予定です。

午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614



いんざい君 © 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25 議会運営委員会	5/26
5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1 本会議 (議案上程)	6/2
6/3	6/4 本会議 (個人質問)	6/5 本会議 (個人質問)	6/6 本会議 (個人質問)	6/7 本会議 (個人質問)	6/8 本会議 (個人質問)	6/9
6/10	6/11 予算審査 常任委員会	6/12 文教福祉 常任委員会	6/13 総務企画 常任委員会	6/14 建設経済 常任委員会	6/15	6/16
6/17	6/18	6/19	6/20 議会運営 委員会 正副委員長会議	6/21 本会議 (議案の採決)	6/22	6/23

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせください。